

中学校 国語

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～ 大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
- 記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～ 大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は **1**」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 **1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「第2章 各教科 第1節 国語 第2各学年の目標及び内容」に示されている各学年の「2 内容〔知識及び技能〕」の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」の一部であるが、それぞれの文と指導学年の正しい組合せはどれか。 1～5から一つ選べ。 解答番号は 1

- A 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
- B 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。
- C 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
- D 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

E 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。

1	A	第1学年	B	第2学年	C	第2学年	D	第3学年	E	第3学年
2	A	第1学年	B	第3学年	C	第2学年	D	第3学年	E	第3学年
3	A	第1学年	B	第2学年	C	第3学年	D	第2学年	E	第3学年
4	A	第2学年	B	第3学年	C	第3学年	D	第2学年	E	第2学年
5	A	第2学年	B	第2学年	C	第3学年	D	第2学年	E	第2学年

- (2) 次のうち、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）の「第2章 各教科 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容」に示されている、第3学年の「2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の「(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」の一部として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。 1～5 から一つ選べ。 解答番号は 2

- A 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。
- B 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。
- C 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。
- D 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
- E 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
×	×	×	○	○
B	B	B	B	B
○	×	○	×	○
C	C	C	C	C
×	○	○	×	×
D	D	D	D	D
○	○	×	○	×
E	E	E	E	E
×	×	○	○	×

- (3) 次の文章は、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月21日中央教育審議会）における「3. 学習評価の基本的な枠組みと改善の方向性」のうち、「(2) 観点別学習状況の評価の改善について」で示されている内容の一部である。空欄 A ～ C に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は 3

○ 答申では「学びに向かう力、人間性等」には、①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価を通じて見取ることができる部分と、②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから A を通じて見取る部分があることに留意する必要があるとされており、新学習指導要領に示された、各教科等における学びに向かう力、人間性等に関わる目標や内容の規定を踏まえ、各教科等の特質に応じた評価方法の工夫改善を進めることが重要である。

○ また、答申が指摘するとおり「学びに向かう力、人間性等」は、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素であり、学習評価と学習指導を通じて「学びに向かう力、人間性等」の涵養を図ることは、B を形成する上でも極めて重要である。

○ したがって、「主体的に学習に取り組む態度」の評価とそれに基づく学習や指導の改善を考える際には、B を培う視点をもつことが重要である。このことに関して、心理学や教育学等の学問的な発展に伴って、自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考の過程等を客観的に捉える力（いわゆるメタ認知）など、学習に関する自己調整にかかわるスキルなどが重視されていることにも留意する必要がある。

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言等を行うなど、C を評価することではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る評価の観点の趣旨に照らして、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である。

1	A パフォーマンス評価	B 協働的学習の基盤	C 知識及び技能の習得状況
2	A パフォーマンス評価	B キャリア形成の基盤	C 学習内容の理解度
3	A 個人内評価	B 生涯にわたり学習する基盤	C 性格や行動面の傾向
4	A 絶対評価	B 協働的学習の基盤	C 性格や行動面の傾向
5	A 個人内評価	B 生涯にわたり学習する基盤	C 知識及び技能の習得状況

(4) 次のA～Eは、古典文学の各ジャンルの作品を古いものから新しいものの順に並べたものである。正しい順に並んでいるものの組合せとして適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 4

- | | | |
|---|--|-----------------|
| A | 説話集 | 日本霊異記↓今昔物語集↓十訓抄 |
| B | 随筆 | 枕草子↓徒然草↓方丈記 |
| C | 歌物語 | 大和物語↓伊勢物語↓平中物語 |
| D | 日記 | 土佐日記↓更級日記↓紫式部日記 |
| E | 歴史物語 | 大鏡↓今鏡↓増鏡 |

- | | |
|---|-----|
| 1 | AとB |
| 2 | BとC |
| 3 | CとD |
| 4 | DとE |
| 5 | AとE |

(5) 次のA～Eのことわざ・慣用句の説明として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 5

- A 「尻馬に乗る」とは、時間ぎりぎりに間に合うことを表す言葉である。
- B 「魚心あれば水心」とは、相手が好意を示せば、こちらも好意をもって対応することを表す言葉である。
- C 「猫に鯉節」とは、危険な状況、過ちが起こりやすい状況を表す言葉である。
- D 「鳩が豆鉄砲を食ったよう」とは、思いがけない出来事に驚き、きよんとしている様子を表す言葉である。
- E 「まな板の鯉」とは、相手の思い通りになるより仕方ない境遇をあらわす言葉である。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A | × | B | ○ | C | × | D | ○ | E | ○ |
| 2 | A | ○ | B | × | C | ○ | D | ○ | E | × |
| 3 | A | × | B | ○ | C | ○ | D | ○ | E | ○ |
| 4 | A | ○ | B | ○ | C | × | D | × | E | × |
| 5 | A | ○ | B | × | C | ○ | D | × | E | ○ |

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…科学史の哲学

下村寅太郎 みすず書房

217ページ9行目から220ページ8行目まで

(下村寅太郎『科学史の哲学』より)

(1) 部a、cのカタカナを漢字になおすとき、同じ漢字を含むものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、aは 6、bは 7、cは 8

a ジュウゼンの

1 ザツゼンとした部屋。

3 ゼンは急げ。

5 会議のオゼンダテをする。

2 図書館で名作ゼンシュウを借りる。

4 梅雨ゼンセンが停滞する。

b バイカイ

1 バイキュウのお引き立て。

3 バイシンインを選ぶ。

5 記憶バイタイを利用する。

2 駅のバイテンに立ち寄る。

4 用地をバイシュウする。

c ユライ

1 ユカイな一日を過ごした。

3 ガソリンをキュウユする。

5 サユを一口飲む。

2 京都をケイユして大阪に行く。

4 物見ユサンに出かける。

- (2) — 部①について説明したものととして、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は 9

- 1 人間の知識や自発性を否定・無視し、科学を一つの精神的事実として捉える立場。
- 2 科学をその依存性において考察するために、観念論を予想した方法を用いる立場。
- 3 科学を他のものから独立な知識として捉え、その論理的構造を問題とする立場。
- 4 理想的存在として取り扱われた科学を、外的な側面において捉えようとする立場。
- 5 科学を意識の問題として取り扱い、科学を機能的側面から考察しようとする立場。

- (3) — 部②について説明したものととして、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は 10

- 1 科学を生成・形成の過程において捉え、技術との連関において理解しようとする。
- 2 科学をその外的制約からではなく、内部的構造において明らかにしようと試みる。
- 3 科学を唯物論として取り扱う立場を脱却し、認識論を前提する立場から考察すること。
- 4 知識でなく技術と捉えた科学を、その内在性・純粋性において追究しようとする。
- 5 科学を精神的事実として捉えることにより、社会科学の立場を標榜しようとする。

- (4) 本文中の空欄 A、B、C に当てはまる語の組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 11

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|---------|
| 1 | A | 歴史 | B | 自然 | C | 多義的な主観性 |
| 2 | A | 自然 | B | 社会 | C | 自発的な主観性 |
| 3 | A | 自然 | B | 歴史 | C | 抽象的な主観性 |
| 4 | A | 自然 | B | 社会 | C | 一義的な客観性 |
| 5 | A | 社会 | B | 自然 | C | 具体的な客観性 |

- (5) 本文で述べられている筆者の主張として最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は

12

- 1 科学は、抽象的立場として社会的制約を受ける一方、社会的要求のみで任意に形成されるものでもないため、科学と社会との総合を主体的に実現するべきである。
- 2 科学を知識・技術の一方に還元せず、内在的な唯物論と外在的な観念論とを止揚して、科学を自己表現として形成する精神に自覚的な社会を作るべきである。
- 3 社会の欲求や構造が科学を制約しつつ成立させてきた歴史をふまえ、科学を技術的応用の問題としてではなく、「科学の歴史」として把握するべきである。
- 4 歴史的地盤において主観的知識と社会的制約が相互に作用する中で、歴史的主体の客観的自己表現として科学を形成する精神を自覚するべきである。
- 5 科学を構成すなわち所産、被制約即自発性、生成即形成として把握することから脱却し、人間が科学を生成する「精神史」を把握直すべきである。

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…新釈漢文大系第8巻 莊子（下）

明治書院

381ページ17行目から21行目まで、
382ページ7行目から14行目まで

（『莊子』より）

〔注〕

漢陰 | 漢水（川の名）の南。
丈人 | 丈人。長老を敬つていう語。
洸湯 | たぎり立ってあふれ出る湯。

(1) — 部①の返り点の付け方と書き下し文との組合せとして最も適切なものはどれか。 1～5から

一つ選べ。 解答番号は 13

- 1 鑿^レ隧^ニ而入^一井^一、抱^レ甕^ニ而出^一灌[。]
入井^ニすることに鑿^{さくすゐ}隧^し、甕^{かめ}を抱^かきて灌^{かんしゆつ}出す。
- 2 鑿^レ隧^ニ而入^一井^一、抱^レ甕^ニ而出^一灌[。]
入井^ニすれども隧^{すゐ}に鑿^{うが}ち、灌^{かんしゆつ}出して甕^{かめ}を抱^かく。
- 3 鑿^レ隧^ニ而入^一井^一、抱^レ甕^ニ而出^一灌[。]
鑿^{さくすゐ}隧^しに井^ニに入り、抱^{ほう}甕^{おう}を出^{いだ}し灌^{かん}す。
- 4 鑿^レ隧^ニ而入^一井^一、抱^レ甕^ニ而出^一灌[。]
隧^{すゐ}に鑿^{うが}ちて井^ニに入り、出^{いだ}すこと甕^{かめ}を抱^かへ灌^{かん}す。
- 5 鑿^レ隧^ニ而入^一井^一、抱^レ甕^ニ而出^一灌[。]
隧^{すゐ}を鑿^{うが}ちて井^ニに入り、甕^{かめ}を抱^{いだ}きて出^そし灌^{かん}ぐ。

(2) — 部②とあるが、子貢がこのように言ったのはなぜか。最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は 14

- 1 年長者に重労働をさせるくらいなら、若者がそれを引き受けるべきだから。
- 2 少ない労力で多くの成果を得られるならば、それに越したことはないから。
- 3 同じ量の作業を行うとき、その結果よりそこに至る過程の方が大事だから。
- 4 苦勞のわりに成果が少ない場合は、はじめからやらないほうがまだから。
- 5 新しい方法を頭ごなしに批判する丈人の発言が、愚かなものであったから。

(3) — 部③④⑤について、主語の組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は

5	4	3	2	1
③	③	③	③	③
丈人	丈人	丈人	子貢	子貢
④	④	④	④	④
子貢	子貢	丈人	丈人	丈人
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
丈人	子貢	子貢	丈人	子貢

(4) 空欄 に共通して入る語句として、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。
解答番号は

5	4	3	2	1
敢	嘗	縦	宜	則

(5) — 部⑥の解釈として、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

5	4	3	2	1
私は知ることができない	私は知らなくてもよい	私は知る方法を知らない	私は知らないわけではない	私は決して知ることがない

(6)

――部⑦の理由として、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

18

- 1 丈人から、「機械」を用いて農作業を行いたい、効率化の悪影響を危惧する「師」がそれを許してくれないと聞き、「師」を説得し丈人を苦しい状況から救う必要性を痛感したから。
- 2 「師」の教えを疎かにして効率を追求する自分とは対照的に、「師」から受け継いだやり方を素直に守って日々の農作業に勤しむ丈人の、兄弟子としてのあり方に心を打たれたから。
- 3 内面の純粹さを保ち、また「道」に忠実であるためにあえて効率化を避ける丈人のあり方に触れ、安易に「機械」の導入を勧める自分の考えが一面的であったことに気付いたから。
- 4 辛い農作業を効率化したいと訴える丈人を「道」に基づいて批判したところ、相手に恥をかかせ願いを断つこともまた「道」に背くのではないかという的を射た指摘を受けたから。
- 5 恥ずかしそうな丈人の様子を見て、楚で学んだ「機械」の利点を主張する自分の行為が、まだそれを知らない漢陰の人々に知識をひけらかす、配慮に欠けたものだとなったから。

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…新日本古典文学大系 97 当代江戸百化物 在津紀事 仮名世説
岩波書店
81ページ行目から83ページ3行目まで

『落栗物語』より

〔注〕

蘭	藤袴の漢名。
琴のこと	七弦琴。あとの「きんの琴」も同じ。
伶官	音楽をつかさどる官。楽官。
什物	秘蔵の宝物。
上宮太子	聖徳太子の別称。
竹尺	竹のものさし。
あたり	手がかりとなるところ。
ふりはへ	わざわざ。ことさら。
式	琴の各部分の寸法などを詳細に記したもの。
竜池	琴の底にあいた穴。

(1) 部A、Bの現代語訳として最も適切なものはどれか。ア～オからそれぞれ一つ選べ。

A

ア そのまま諦めることが残念で
 イ その人の邪魔をしても意味がないので
 ウ このまま引き下がらないのも大人げなく
 エ 自分の願いが叶わないのはしやくにさわるので
 オ この人の言いなりになるのは悔しくて

B

ア 必死にたどり着くと
 イ 我慢しようと心がけて
 ウ 次の日の朝に行ったところ
 エ 懸命に願い出たので
 オ 朝早くに訪ねようとする

(2) 部a～eの助動詞について説明したものとして適切なものを、ア～オからすべて選べ。

ア aは、完了の助動詞「き」の未然形。
 イ bは、存続の助動詞「る」の連体形。
 ウ cは、過去の助動詞「けり」の已然形。
 エ dは、願望の助動詞「まほし」の連体形。
 オ eは、打消の助動詞「ず」の連体形。

(3) — 部①とあるが、ここで「黄なる衣着たる僧」が咎めた理由として最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

- ア 源竜が珍しい琴の噂を聞きつけてひそかに寺に忍び込み、夢中になってその琴を鑑賞していたから。
- イ 上宮太子より授かった琴の形を写したいという願いに対して、別の僧が勝手に許可を与えたから。
- ウ 蘭園の隠士とも呼ばれる琴の名人が、琴を弾かせてもらえないでいることに納得がいかなかったから。
- エ 高麗の国より伝来した琴は、寺に厳重に保管されており他人に見せてはいけなかったから。
- オ 源竜が懷から墨と筆と竹尺を取り出して、秘蔵の宝物である琴の形を書き写している姿を見たから。

(4) — 部②とあるが、この「御志」について説明したものとして最も適切なものはどれか。
ア 才から一つ選べ。

- ア 「たとえ七弦琴を弾くことはできなくても、琴の形をどうにか写して帰りたいと強く心で思っていた」という意味の和歌に込められた、琴に対する源竜の強い執着。
- イ 「病のため思うように琴を弾くことができないが、七弦の琴の弦よりも強い心をもって乗り越えたい」という意味の和歌に込められた、病を乗り越えたいという源竜の願い。
- ウ 「とにかく七弦琴を弾きたいという強い心から、許可を得ずに琴を弾いてしまったことを後悔している」という意味の和歌に込められた、源竜の後悔と謝罪の意。
- エ 「古くから法隆寺に伝わる七つの琴を弾くことができないのならば、この命がなくなってもいいと強く思っている」という意味の和歌に込められた、源竜の琴に対する信念。
- オ 「七弦琴の弦よりも強い自分の心ゆえに、結局この琴の件については引き下がることができなかつた」という意味の和歌に込められた、源竜の琴に対する強い情熱。

(5) — 部③とあるが、ここで「常にあらず」と述べられている琴の特徴として最も適切なものはどれか。ア、オから一つ選べ。

ア 漆で黒く塗られた琴の表面には、牛の毛や梅の花びらのような形の模様があらわれていた。
イ 琴の表面は漆で黒く塗られており、世にも珍しい琴であることが書き付けられていた。
ウ 琴の表面は漆で黒く塗られており、尾部には牛の毛が装飾としてあしらわれていた。
エ 琴の表面は漆で黒く塗られており、さらに刀で切られた跡が一面に残されていた。
オ 漆で黒く塗られた琴の表面には、素晴らしい筆致で梅の花びらが描かれていた。

(6) — 部④とあるが、人々がこう言ったのは、本文中の「琴」についてどのような矛盾があったからか。本文の内容に即して、五十字以上六十五字以下で答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…「いき」の構造 他二篇

九鬼周造 岩波書店

112ページ2行目から116ページ10行目まで

(九鬼周造「風流に関する一考察」より)

(1) 部A、Bのカタカナを漢字になおせ。

(2) 本文中の空欄 a に入れるのに最も適した語句を本文中から十三字で抜き出せ。

(3) — 部①について説明したものととして、最も適切なものはどれか。アから一つ選べ。

ア 対象との空間的關係がおのずから対象の性質を規定することによって、量から質へ不知不識に移動があり、そこに対象の色合が必然的に出てくるようになるということ。

イ 対象への主観的決定が、「華やかなもの」として現われていた美的価値を否定し、「寂びたもの」という一義的に固定された客観として感覚するようになるということ。

ウ 対象に孤在的に濃厚な色彩で現われていた美的価値が、それ以外の対立関係を混淆させながら、複雑な色調にまで円熟したものととして感覚されるようになるということ。

エ 対象が内包する美的価値が、白昼の光の中では華やかな色を帯び、薄明の中では寂びた色を帯びて現われるように、そのつど異なる様相で感覚されるようになるということ。

オ 対象における「厳かなもの」と「可笑しいもの」の対立関係を超越した美的価値が、対象へ肉薄する「細み」によって、対象の輪廓として現われるようになるということ。

(4) — 部②とあるが、「瘦蛙まけるな一茶是にあり」の句において、これはどういうことか。筆者の考えに即して、七十字以上八十字以内で説明せよ。

(5) 本文の内容について説明したものととして適切なものはどれか。アから二つ選べ。

ア 魚とそれを捕える網との時間的關係によって「太いもの」「細いもの」の相違を説明することができると同様に、対象を置く空間の明るさの違いによって「華やかなもの」「寂びたもの」の相違を説明することができる。

イ 「太いもの」「細いもの」「華やかなもの」「寂びたもの」「厳かなもの」「可笑しいもの」の三組のうち、「厳かなもの」「可笑しいもの」には美的価値以外の価値がはつきりと混じるため、これらを仮に準美的価値と名付けうる。

ウ 去来は、「予が年やうやう四十二、血氣いまだおとろへず」と述べた時代に否定した「細いもの」の境地に、「老の来るにしたがひ」「おのづから」至ったことで、「寂びしほりたる句」を作ることができるようになった。

エ 立脚地に即して相対的な大小関係や主体客体関係が交代することで、「華やかなもの」が「寂びたもの」に転化したり、「可笑しいもの」が「厳かなもの」に転化したりし、風流心は人生の悲喜劇を目撃することができる。

オ 美的価値の本質的構造をなす対立関係において、最も可変性の小さい「太いもの」「細いもの」には最も純粹に美的価値が現われており、最も可変性が大きい「厳かなもの」「可笑しいもの」は他種の価値の混合度が最も高い。

(6) 本文中で言及されている「去来」および「一茶」について述べた内容の組合せとして最も適切なものはどれか。ア、オから一つ選べ。

- a 江戸時代前期から中期にかけての俳人である。
- b 江戸時代後期の俳人である。
- c 芭蕉の高弟として師や他の門人らの俳評をまとめ、蕉風の本質を追究した。
- d 画業に精進しながら俳人としても活躍し、風雅で絵画的な句を残した。
- e さまざまな逆境を経験し、庶民生活にまなざしを向けた句を作った。

ア	去来	｜	aとe	、	一茶	｜	bとd
イ	去来	｜	aとd	、	一茶	｜	bとc
ウ	去来	｜	aとc	、	一茶	｜	bとe
エ	去来	｜	bとc	、	一茶	｜	aとe
オ	去来	｜	bとd	、	一茶	｜	aとc

